

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

●委員長会議／理事会	1
●2008年洋書輸入統計〔前編〕	2-5
●三省堂セール／委員会報告	6
●アイラ島の風	7-8

委員長会議

日時：2009年4月9日（水）

- 総務委員会
 - ・総会前に講演会を行ったかどうかとの意見に対して、総会出席者は各社の代表者が中心なので、中堅、実務者向けの講演会は向かない。また理事、委員長、事務局も総会に集中しているので準備・運営に不具合が起きる可能性がある。従ってサマーパーティーの前が最善なので、そこで行うよう会報・広報委員会に伝える。
 - ・SIGの一環として「総務担当者会議」を行うためのアンケートを実施した。内容をまとめ実施したい。
- 会報・広報委員会

会報は今年の8月号で通巻500号を迎える。
- 事業委員会

三省堂セールは約110万円の売上。前回より若干売上減。顧客より「マンネリ、売れ残り処分」の指摘があった。今後TIBF一本にするかどうか検討する。
- ホームページ・ダイレクトリー委員会

2009年版ダイレクトリーの編集、広告募集は順調に進んでいる。洋販、医学書院の退会、経営状態での辞退等環境は厳しいが、広告売上目標は100万円とする。

- 文化厚生委員会

3月にボーリング大会を行い、盛況だった。また72会ゴルフは参加者が固定してきたので開催を年2回と半減する。麻雀大会の会場を変更する。
- 総会準備
 - ・選挙管理委員会を4月15日（水）に行い投票方法等を討議する。委員（6名）は選出済。また、総会2日前に選挙管理委員による投票開票をおこない新理事、監事を確定する。事前に協会代表者の確認を行う。
- 予算案（総務委員会案）の討議

宮川総務委員長から説明があり、了承された。
- 理事任期制の問題の対処

2011年の理事選挙時の問題（全理事の入替）は新理事会に一任する。

理事会

日時：2009年4月13日（月）

- 委員会報告

上記参照
- 2009年度予算案討議

総務委員会案に対し以下を修正する。

 - （ア）収入の部：事業収入；ダイレクトリー広告料を¥900,000から¥1,000,000に増額
 - （イ）支出の部：セミナー等開催費を¥300,000から¥200,000に減額
 - （ウ）同 同好会費を¥300,000から¥200,000に減額
 - （エ）同 懇親会費を¥450,000から¥650,000に増額
 - （オ）同 新規に「事務局運営費」を新設し¥180,000（¥15,000/月）を割り当てる
- 2011年の理事選挙時の対応

全理事入替という事態を避けるため、新理事会で被選挙権を残す理事を決める。また今年の選挙を含め、理事の辞退が有った場合には欠員とする。
- 入会の承認

テイラー＆フランシスグループの入会申込が承認された。4月1日付で正会員とする。
- 「女性経営者の会」親睦旅行の件

理事を中心に勧誘する。
- 総会会場の変更について

プレスクラブから 財団法人 国際文化会館に変更
〒106-0032 東京都港区六本木5-11-16
電話：03-3470-4611 Fax：03-3479-1738
日時は変更無し。

2008 年(平成 20 年) 1 月～12 月の洋書輸入・輸出通関統計 (前編)

荒 木 亮 一

財務省の「日本貿易統計」から洋書関連商品の数値を国別、品目別などにまとめた一覧表に多少のコメントを付記してご報告したい。本年のデータも 2008 年 12 月速報 (Provisional) がベースである。数値は全て輸入通関額、CIF or C&F、である。

毎年 2 月下旬に財務省貿易統計閲覧室 (合同庁舎第 4 号館 2 階) を訪れ、貿易統計閲覧システム (COMETS) を利用して「日本貿易統計」の取材をしていることと、閲覧室の場所と様子については、会報 (2006 年 4 月号) の「2005 年の輸入統計 (前編)」の序文でご案内したが、今回、関税局調査統計係から、『貿易統計システムの更改に伴い、3 月末をもって、貿易統計閲覧システム (COMETS) が廃止されることとなりました。4 月からは、インターネットを通じて貿易統計ホームページが閲覧可能なパソコンを新たに配備する予定です。』という趣旨の案内状をいただいた。今後は閲覧室まで出向かなくてもアクセス可能になりそうである。因に、『予約印刷サービスは終了となり、代わりに、貿易統計ホームページのデータを印刷するサービスが開始されることとなります。』と追記があった。《貿易統計ホームページについては「補遺」参照》

◎アメリカのサブプライム問題や原油価格の高騰などに端を発した経済危機は金融界を揺るがし、グローバル化して未曾有の影響をもたらしている。オバマ新大統領は「深刻な問題が多く、短期間に対処できない」としながらも、「アメリカは解決できる」と《"Yes We Can" spirit》を強調しているが、景気の回復にはまだまだ時間が必要であろう。昨年 1 月の為替相場は ¥108 であったが、10 月以降に一時は ¥90 を割り込むような急激な円高が進み、アメリカ系保険会社が契約条件を切り替えるなどの厳しい状況が発生した。過去数年間の主要通貨を見ると為替相場の年間平均値は円安が続いた。円高が進んだ 2008 年度は、輸入額絶対値の前年比が「書籍類」‘－11 %,’「雑誌類」‘－16 %’ とかなりの減少を示している。しかし、急激な円高は年末の四半期に入ってからということもあり、主要通貨の為替相場の単純年間平均値をベースに、通関が毎月平均的に行われたとの仮定の上での計算で

は、影響度は前年比で ‘－2.3 %’ と、許容範囲に近いのではないかと考えられた。【表 11 参照】

1) 主要品目の輸入通関額について：

(表 1-a) 2007/2008 年輸入通関統計 (単位 百万円)

分類	品目	07年1月～12月 輸入価格	08年1月～12月 輸入価格	前年比	構成比
書籍 および それに 類する もの	単一シートのもの	307	242	78.8%	0.5%
	辞典および事典	128	179	139.8%	0.4%
	その他のもの (書籍)	29,580	26,927	91.0%	58.0%
	幼児用の絵本及び習字本	5,066	3,881	76.6%	8.4%
	小計 (1)	35,081	31,229	89.0%	67.3%
	楽譜／地図／ 海図／地球儀	852	642	75.4%	1.4%
新聞・ 雑誌そ の他の 定期刊 行物		1,295	1,225	94.6%	2.6%
	小計 (2)	2,147	1,867	87.0%	4.0%
	一週に 4 回以上 発行するもの	80	91	113.8%	0.0%
	雑誌その他の定期刊行物	15,744	13,209	83.9%	0.2%
	小計 (3)	15,824	13,300	84.0%	28.5%
合計	(1) + (3)	50,905	44,529	87.5%	96.0%
合計	(1) + (2) + (3)	53,052	46,396	87.5%	100.0%

◎この表が示す「書籍」、「楽譜・地図」、「雑誌」の絶対値は (「辞典および事典」を除き) 軒並みの減少である。「ふざけるな！」とお叱りを受けるかも知れないが、通関が今回の円高期に集中する「2009 年度のジャーナル」について多少の期待をしたい、と思った。

◎項目別に見てみよう。「単一シート」は前回もコメントしたように、殆ど毎年、アップ・アンド・ダウンがある。「シート」で輸入される商品には、アートブック、幼児または児童のための絵本などが含まれると思われる。

「辞典」は前年比で約 40 % の増加であったが、ここ 3 年は好調時の半減に近く、昨年、2007 年度は更に低調であり、その 40 % 弱であった。繰り返しになるが、ポケット・サイズの電子辞書にオックスフォード、ランダムハウス、広辞苑などなど、原書を含む有数の辞典など 20 点に近い辞書類が収録され、利便性が高い上に発音や旅行英会話の練習、音声による意志の疎通が可能な機種もあるようだが、是非、学生諸氏には「辞書」を座右の書としていただきたい。

「書籍類」が、昨年「この 10 年間で初めて 3 百億円を割り込んだ」と報告したが、2008 年度は昨年来更に下回っている。「書籍 (絵本を除く)」輸入額の顕

著な変化は、オランダが前年比 51 % の伸び、マレーシアが 50 %、台湾が 49 %、韓国が 45 % とそれぞれ増加している。一方、2003 年に急増した香港からの輸入がこの数年で激減して、2008 年は当時の 10 % 弱となった。委託出版などの衰退や、電子ブックの普及などが原因かも知れない。

「絵本」はこの数年、前年比で順調に伸びてきたが、6 年ぶりに 2008 年度は約 13 % の減少となった。中国からの輸入は依然トップであるが、2007 年度の約 ¥39 億を下回り、¥32 億強に留まったことが大きい。その他の国々は全て、中国とは 1 桁違うが、軒並みにマイナスが付いている。昨年は 2 位に付けた香港も前年比 40 % 弱と大幅減少である、

◎「雑誌・新聞」については、学術情報の電子化など、流通の環境はかなり進歩してきたが、やはり紙媒体もその位置を失ってもらいたくないと思う。金銭的には小さいが、香港経由の配給も続いているようである。

◎「楽譜、地図・海図、地球儀」の合計輸入額が前年比で 22 % の増加を見た昨年を下回ったが、この 10 年は毎年順調に伸びてきており、2008 年は前年比で 5 % 減少だが、一昨年、2006 年より 6 % 強上回っている。因に、「地図・海図、地球儀」は、書店や多彩な商品を扱う大型小売店には必ず見られ、統計が示すところではマーケットは健全である。

(表 1-b) 品目別輸入量(総重量と総冊数)

品目	輸入された「1Kg 当たりの平均冊数」					
	'07 総冊数	'07 総重量 (Kg)	平均冊数 (Kg)	'08 総冊数	'08 総重量 (Kg)	平均冊数 (Kg)
(書籍)						
単一シートのもの	～	184,358	～	～	229,076	～
辞典及び事典	124,964	87,065	1.4	178,257	141,289	1.3
書籍など	～	8,642,042	～	～	8,305,513	～
幼児用の絵本及び習本	21,449,410	4,168,860	5.1	16,663,504	3,959,907	4.2
小計 1(辞典+絵本)	21,574,374	4,255,925	5.1	16,841,761	4,101,196	4.1
(新聞・雑誌)						
一週に 4 回以上 発行するもの	519,937	42,038	12.4	657,203	49,364	13.3
新聞・雑誌その 他の定期刊行物	15,399,623	4,178,282	3.7	14,294,128	3,839,888	3.7
小計 2	15,919,560	4,220,320	3.8	14,951,331	3,889,252	3.8
合計(1+2)	37,493,934	8,476,245	4.4	31,793,092	7,990,448	4.0

◎貿易統計から、例年のとおり輸入冊数 (NO) と重量 (KG) を対照表にまとめた。「単一シート」の数量は冊数で把握することは難しいが、「書籍類」の冊数が発表されていると、更にいろいろと分析できそうだが。

「辞典及び事典」は、1Kg.当たりの冊数が平均 1.2

～ 1.5 冊で推移しているがので 2008 年も特別な変化は見られない。2003 年 3 月号で初めてこの対照表《2001 年 vs. 2002 年》を掲載したが、2001 年が 2.8 冊 / Kg.、2002 年が 1.2 冊 / Kg.であった。因に、2001 年は特にペーパーバックやポケットブックのように小型の辞書の輸入が多かったのではないかと推測した。

「幼児用の絵本」1 冊当たりの重量は、報告を始めてから概ね 200g. 見当と変化は少なく、幼児が扱いやすいサイズである。

「一週に 4 回以上発行するもの」および「新聞・雑誌」は、サイズ的に変化はないと思われる。

(表 1-c) 品目別輸入量(総冊数と平均単価)

品目	輸入された「総冊数と平均単価」					
	'07 総冊数	'08 総冊数	前年比	'07 年 平均単価	'08 年 平均単価	前年比
(書籍)						
単一シートのもの	～	～	～	～	～	～
辞典および事典	124,964	178,257	143%	¥1,024	¥1,004	98%
書籍など	～	～	～	～	～	～
幼児用の絵本及び習本	21,449,410	16,663,504	78%	¥236	¥233	99%
小計	21,574,374	16,841,761	78%	¥218	¥279	128%
(新聞・雑誌)						
一週に 4 回以上 発行するもの	519,937	657,203	126%	¥154	¥138	90%
新聞・雑誌その 他の定期刊行物	15,399,623	14,294,128	93%	¥1,022	¥924	90%
小計	15,919,560	14,951,331	94%	¥994	¥890	89%
合計	37,493,934	31,793,092	85%	¥559	¥659	118%

註:「単一シート」、「書籍」は冊数の統計が発表されていない。

◎輸入冊数の前年比と、輸入額を輸入冊数で除した大凡の「平均単価」一覧表である。

「辞典及び事典」の 2008 年度は、輸入額、冊数共に増加したが、平均単価は 2 % ダウンである。毎年平均単価を推定、報告しているが、かなりのアップ・アンド・ダウンが見られる。現在の記録にある限りでは、2001 年の ¥533 / 冊が最安値で、2004 年が ¥1,841 / 冊が最高値を示しており、これらからその年々に輸入された商品を覗き見ることができる。

「幼児用絵本」2008 年度の輸入冊数は、表の示すとおり前年度より 24 % ほど少ないが、平均単価は前年度並みである。平均単価の歴史を見ると、2001 年の ¥227 / 冊から 2002 年、2003 年と 17 ～ 18 % 程上昇してそれぞれ ¥269 / 冊、¥264 / 冊となったが、2005 年には ¥179 / 冊と急落した。その年および翌 2006 年の輸入統計に遡ると、中国が急増（それぞれ約 30 % ～ 32 %）している。中国商品の平均単価がそれぞれ ¥128 / 冊、¥156 / 冊であったことから、全

体の平均単価を押し下げたと考えた。因に、2008年の中国よりの平均単価は¥231／冊と、全体平均単価¥233／冊とほぼ並列なので、中国の経済発展と比例した原価の上昇が読み取れる。

「一週に4回以上発行するもの」の当報告期の平均単価は標準内である。この分析を掲載し始めた2001年から、2007年の¥154／部を除き、¥130～¥140／部のレベルで推移している。2007年の平均価格は15％の上昇であるが、絶対値が少ないので、全体としては1％の変動であった。「新聞・雑誌、その他の定期刊行物」の平均単価は、輸入部数の増減にほぼ比例して上下しているようである。2008年は14百万部台なので例外的に低いと思われる。因に、多少の例外を除けば、輸入の数量が20百万部以上の場合には1部¥600以上¥1,000以内であり、20百万部以下では1部¥1,000以上である。

2. 最近20年間の輸入額一覧

(表2-a) 10年間の輸入通関額の推移(単位 百万円)

品目	書籍・辞書・絵本			雑誌・新聞その他の定期刊行物			合計		
	輸入額	前年比	指数	輸入額	前年比	指数	輸入額	前年比	指数
1999	35,151	100%	100	18,029	95%	100	53,180	98%	100
2000	33,190	94%	94	16,542	92%	92	49,732	94%	94
2001	39,244	118%	111	19,125	116%	106	58,369	117%	110
2002	41,243	105%	117	15,892	83%	88	57,135	98%	107
2003	40,585	98%	115	16,756	105%	93	57,341	100%	108
2004	37,086	91%	105	14,575	87%	81	51,661	90%	97
2005	34,767	94%	99	15,353	105%	85	50,120	97%	94
2006	35,660	103%	101	16,259	106%	90	51,919	104%	98
2007	35,080	98%	100	15,824	97%	88	50,904	98%	96
2008	31,229	89%	89	13,300	84%	74	44,529	87%	84

◎「書籍類」および「雑誌・新聞その他の定期刊行物」輸入額の過去10年間の推移である。1999年を100(指数)として見ている。2008年は、数値上が過去10年の最も厳しい状況を示している。

(表2-b) 10年間の品目別推移 (単位 百万円)

品目	単一シート		辞典		書籍		絵本	
	輸入額	前年比	輸入額	前年比	輸入額	前年比	輸入額	前年比
1999	121	99%	341	99%	28,302	87%	2,387	109%
2000	116	96%	225	66%	30,282	107%	2,567	108%
2001	271	234%	283	126%	36,255	120%	2,435	95%
2002	132	49%	333	118%	37,636	104%	3,142	129%
2003	212	161%	292	88%	36,673	97%	3,401	108%
2004	284	134%	316	95%	32,730	89%	3,756	110%
2005	337	119%	241	76%	30,111	92%	4,078	109%
2006	173	51%	154	64%	30,787	102%	4,546	111%
2007	307	177%	128	83%	29,580	96%	5,066	111%
2008	242	79%	179	140%	26,927	91%	3,881	77%

ここにまとめてある商品については、繰り返しになるが、毎年「実行関税率表」で分類を確認している。先ず【第49類：印刷した書籍、新聞、絵画その他の印刷物並びに手書き文書、タイプ文書、設計図及び図案】で主な商品は“4901.10.000”(単一シート)、“4901.91.000”(辞典及び事典)、“4901.99.000”(その他のもの)《通常の書籍類が含まれる》、“4902.10.000”新聞、雑誌で(一週に4回以上発行するもの)、“4902.90.00”(その他のもの)《ジャーナルが含まれる》、“4903.00.000”(幼児用の絵本及び習画本)などである。《詳細は「補遺」参照》

◎「単一シート」とは、「単一シートのもの(折り畳んであるかないかを問わない)」と付記されている。「シート」輸入は、量的な合意がなければ行われなと思うので、毎年の輸入額にアップ・アンド・ダウンがあつて然るべきである。2008年の国別内訳は、アメリカがトップで(¥78百万)、次点が中国(¥52百万)、以下ドイツ(¥43百万)、以下台湾、カナダ、シンガポール、タイ、フランスがつづいている。幼児用絵本やアート・ブック、地図(?)などが含まれるのではないだろうか。

「辞典」類は2年ぶりに増加したが、現代は電子機器がこの分野の競合商品になっている。このラインは中国がトップ(¥72百万)で、次点が英国(¥44百万)、以下アメリカ、韓国、香港が主な国々である。

「書籍」は2年連続の減少となった。厳密には、2008年年末の主要通貨に対する大幅な円高、インターネットなど電子工学が齎している多岐に亘る変化、税関を通ることのない入手経路のサイズ、などを考慮しなければ正確に現象を分析できないと思うが、それは力に余るので例年どおりに絶対値のみをベースとする。アメリカ(¥10,816百万)と英国(¥7,233百万)から合計67%の輸入があり、以下中国から10%、ドイツが約7%、フランスが4%強と、以上主要5ヶ国で合計88%である。

「絵本」(幼児用の絵本)は、2005年～2007年と連続して増加したので、2008年の前年比77%という大幅な落ち込みの原因が何処にあるのか、多少気に掛かる。国別のシェアは、2007年に引きつづき中国(¥3,224百万)がトップで83%(2006年が67%、2005年が57%)と上昇気流に乗っている。つづいてアメリカ4.5%、香港3%、シンガポール2.7%、英国1.8%、タイ1.6%、その他韓国、マレーシア、台湾などの国々は1%に満たなかった。

(表 2-b 続き) 10 年間の品目別推移 (単位 百万円)

品目 暦年	雑誌・新聞		楽譜・地図		合計	
	輸入額	前年比	輸入額	前年比	輸入額	前年比
1999	18,029	95%	1,277	84%	50,457	90%
2000	16,542	92%	1,153	90%	50,885	101%
2001	19,125	116%	1,451	126%	59,820	118%
2002	15,892	83%	1,414	97%	58,549	98%
2003	16,756	105%	1,575	111%	58,909	101%
2004	14,575	87%	1,621	103%	53,282	90%
2005	15,353	105%	1,706	105%	51,826	97%
2006	16,259	106%	1,755	103%	53,674	104%
2007	15,824	97%	2,147	122%	53,052	99%
2008	13,300	84%	1,867	87%	46,396	87%

◎「雑誌・新聞」のマーケットについては、輸入統計に発表されない電子ジャーナルのシェアは不明だが、これを考えあわせると単純に外国雑誌のマーケットが減少した、とは言えないのではないだろうか。印刷されたものの大きな伸びを期待することはできないであろうが、しかし、これも新しい時代への経営的チャレンジに違いない。

「楽譜・地図」とは、『楽譜（印刷したもの及び手書きのものに限るものとし、製本してあるかないか又は挿絵を有するか有しないかを問わない。）』と、『地図、海図その他これらに類する図（製本したもの、壁掛け用のもの、地形図及び地球儀、天球儀その他これらに類するものを含むものとし、印刷したものに限る。）』の 2 品目を含む。これら 2 品目の合計は、2007 年に大幅増があったので、2008 年度は前年比（-13%）を示した。しかし、表が示すとおり、この 10 年はほぼ順調だと言える。2008 年は前々年の 2006 年との比較で（+6%強）である。【品目別の前年比は、後述の“表 7”参照】「楽譜」の輸入額の国別構成比は、毎年ベートーベンを生んだドイツが一位で 2008 年は 44%、また、今回も次点はアメリカで 32%であった。次に「地球儀・天体儀」は、中国から 32%弱、台湾から 29%強、インドネシアから 26%強、次点イタリアが 7%、と東南アジアからが多い。「地図」の構成は、①《地球儀・天球儀》27%、②《製本したもの》4%、③《その他のもの》59%から成る。①の仕入れ先は台湾がトップで 42%、次点が中国の 37%、3 位がイタリアで 10%であった。次のアメリカは 3%弱。②の大所は、英国 29%、アメリカ 22%である。③は、壁掛け用のものなどがこの範疇に入ると思われるが、英国が 79%を占めている。アメリカが 9%強、オーストラリア 5%強、シンガポール 2%とほぼ昨年並みである。この 1 年は。あまり新しい商品にお目にかからなかった。

3. 主要 10 ケ国からの 2008 年輸入通関額

(表 3-a) 2008 年主要 10 ケ国からの輸入通関額 (単位 百万円)

品目 国名	書籍・辞書・絵本			雑誌・新聞その他の 定期刊行物			計		
	輸入額	前年比	構成比	輸入額	前年比	構成比	輸入額	前年比	構成比
米	11,081	93%	35%	5,507	83%	41%	16,588	89%	37%
英	7,348	93%	24%	4,051	89%	30%	11,399	92%	26%
中国	5,945	83%	19%	139	99%	1%	6084	84%	14%
独	1,865	93%	6%	587	78%	4%	2,452	89%	6%
オランダ	295	145%	1%	1,420	81%	11%	1,715	87%	4%
仏	1,210	95%	4%	210	80%	2%	1,420	92%	3%
シンガポール	728	77%	2%	374	77%	3%	1,102	77%	2%
香港	578	144%	2%	264	97%	2%	842	125%	2%
韓国	309	26%	1%	176	176%	1%	485	38%	1%
ブラジル	264	99%	1%	202	202%	2%	466	72%	1%
小計	29,623	89%	95%	12,930	85%	97%	42,553	88%	96%
その他の国	1,606	94%	5%	370	66%	3%	1,976	87%	4%
計	31,229	89%	100%	13,300	84%	100%	44,529	87%	100%

◎「書籍」と「雑誌」の合計額で見ると主要 10 ケ国は、イタリアが脱落、ブラジルが 10 位に入った以外は、昨年と同じ顔ぶれが出揃った。順位については韓国 8 位、香港 9 位と入れ替ったが、全体の輸入額的には「書籍・事典・絵本」、「雑誌・新聞」とともにそれぞれ（-11%）、（-16%）である。

(表 3-b) 2008 年主要輸入元別輸入対照表 (単位 1,000 百万円)

品名/国名	米	英	EURO 圏	東アジア	東南アジア	その他の国	合計
書籍類	11.1	7.3	3.7	7.1	1.2	0.8	31.2
雑誌類	5.6	4.1	2.6	0.6	0.4	0.1	13.3
合計	16.7	11.4	6.2	7.7	1.6	0.9	44.5
前年比	90%	91%	86%	82%	76%	82%	87%
'08 構成比	38%	26%	14%	17%	4%	2%	100%
'07 実績	18.6	12.5	7.2	9.4	2.1	1.1	50.9
'07 構成比	37%	25%	14%	18%	4%	2%	100%

註 1: “EURO 圏” は参加国 12 カ国の合計。

註 2: “東アジア” は中国、香港、台湾、韓国 4 カ国の合計。

(北朝鮮は 0)

註 3: “東南アジア” はシンガポール、タイ、マレーシア、インドなど 10 ケ国の合計。

◎輸入額を、今回も主要国の英・米と、EURO 圏 (12 ケ国)、東アジア (4 ケ国。北朝鮮は 5 ケ国に入り 2002 年は 28 位に位置した。2005 年以降はゼロとなっている。)、東南アジア (10 ケ国)、その他の国々の 6 ケ所にまとめて、その構成比を示した。米・英が 1%を交換し、東アジアが 1%ダウン、その他は前年度と同様である。

(注: 前年比、構成比は自動計算上、1%の差異が生ずる場合があるので、念のため)

(後編につづく)

第6回洋書新本セール

2008年3月14日(土)～3月22日(日)の9日間三省堂書店8階催事場に於いて会員10社の参加で洋書バーゲンを行った。

売上は約110万円で前回秋に行ったセール時に比べ4割減だった。

洋販の倒産と出展社減、並びに各社の在庫抑制による

タイトルの重複などで出品タイトル数、ワゴン数の減少による影響が原因と考えられる。

常連のお客様からは「前回と変わりばえがしない」「マンネリ」等の厳しい声も聞かれた。セールのあり方を含め今後の検討課題としたい。
(事業委員会)



委員会報告 <文化厚生委員会>

第132回 72会ゴルフコンペ

<成績表>	グロス	ハンデ	ネット
優勝 木原健策(東京洋書)	98	27.6	70.4
2位 西山幸児(西山洋書)	92	20.4	71.6
3位 鈴木 徹(ケイラインジスティックス)	104	31.2	72.8
4位 鶴 竜次(東亜ブック)	104	27.6	76.4
5位 石渡 昇(阪神エアカーゴ)	107	30	77
6位 鶴 三郎(東亜ブック)	107	28.8	78.2
7位 唐澤広憲(ゲーテ書房)	123	44.4	78.6
ベスグロ: 西山幸児(西山洋書)	92	(OUT 44 IN 48)	
ドラコン: 山川隆司(ユサコ) 仲 光男(雄松堂書店)			
木原健策(東京洋書) 鶴 竜次(東亜ブック)			

2009年3月14日(土)大雨

会場: 龍ヶ崎カントリー倶楽部(茨城県)

参加者: 16名(12社)

競技: 18ホール ストロークプレー 新ペリアによる

ニアピン: 石渡 昇(阪神エアカーゴ) 鶴 三郎(東亜ブック)×2
鶴 竜次(東亜ブック)



次回は2009年5月30日(土) 桃里CC(栃木県)で開催いたします。

第5回 ボウリング大会

上位の成績は下記の通り

順位	氏名(社名)	総得点	1G	2G
優勝	寺尾雅人(日本出版貿易)	379	219	160
準優勝	ポール・ライリー(OUP)	377	220	157
3位	西山幸児(西山洋書)	348	148	200
4位	柿沼大輔(ユサコ)	337	180	157
5位	高橋直樹(東京ブックランド)	324	158	166
6位	平野 覚(ユサコ)	318	139	179
7位	尾崎繁美(エイビスブックセールス)	314	139	135
8位	鶴 竜次(東亜ブック)	304	136	168
9位	ロバート・ハビック(UPS)	303	174	129
10位	関間 健(東京ブックランド)	296	149	147

2009年3月17日(火)

会場: 東京ドームボウリングセンター

参加者: 24名(11社) 男性16名 女性8名

競技: 2Gのトータルピン

(女性は20ピン/ゲームのハンディキャップあり)



ハイスコア男性/G ポール・ライリー 220

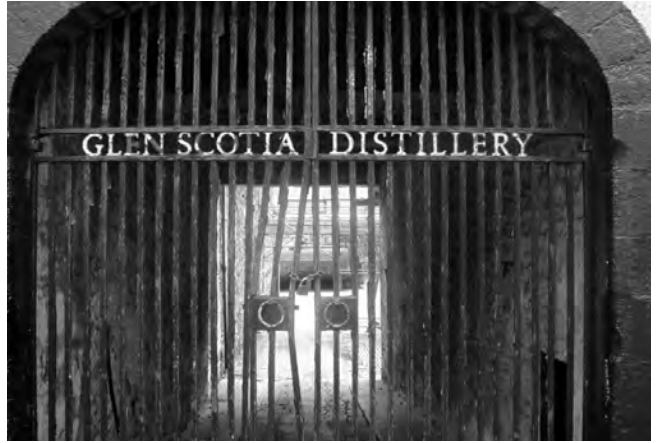
ハイスコア女性/G 尾崎繁美 139

次回は2009年7月に開催予定です。

アイラ島の風

ロンドン・ユーストン駅からグラスゴー・セントラル駅に向かったのは2008年の秋も深まり掛けた9月23日の午前10時半頃でした。今回のウィスキー蒸留所巡りの主な目的地、アイラ島（Isle of Islay）へはグラスゴーから空路でも行くことが出来ませんが、やはり地表を這って最後は海路で行くのが行程も楽しみながらの旅の作法かと思います。

折角なのでアイラ島へ入る前に対岸のキンタイヤー半島（Mull of Kintyre）の先端にある、これも蒸留所の町、キャンベルタウン（Campbeltown）へ立ち寄りました。グラスゴーで一泊した翌朝8時50分にバスに乗り、途中山あり海ありの風光明媚なアーガイル地方（Argyll）の景観を堪能しながら半島最大の町、といっても人口5,000人程のキャンベルタウンに到着したのは午後の1時半頃でした。この日の宿ホワイト・ハート・ホテルはニッカ・ウィスキーの創始者竹鶴政孝が大正時代に修行のため6ヶ月滞在していたといいます。修行に通ったのは銘酒スプリングバンク（Springbank）蒸留所です。ヴィジターをあまり意識していない地味な感じの外観と飾り気のない広い敷地が却って印象的で、その背後には名前の由来と思いき小高い土手、というか丘が控えておりました。キャンベルタウンにはもう一つ、グレンスコシア（Glen Scotia）という蒸留所がありますが、訪問客を受け容れていないので中には入



グレンスコシア

れません。出力の小さい蒸留所ですが、バランスのとれた捨てがたいシングルモルトを生産しています。

キャンベルタウン一泊のあと早朝7時30分のバスで、来たときの道を1時間近く戻り、アイラ島へのフェリーの発着場ケナクレイグ（Kennacraig）で便を待ちます。待つこと1時間半、アイラ島の玄関口ポートエレン（Port Ellen）に向かいます。バスもフェリーもこのスケジュール以外はありません。上述のバスに乗り遅れたらキャンベルタウンでもう一泊となります。ケナクレイグはある意味交通の要衝ではありますが、コンビニ軒とない鄙びた所です。フェリーの出発時間が近づくといつの間にトラックや乗用車の長い列が出来ます。曇り空の中を出発して海上に2時間半、ポートエレンに着く頃には晴れてきました。早朝出発のためホテルで朝食にありつけず、船着場でも買うところがなく、漸くフェリーの中でサンドイッチを手にし、穏やかな航海の中、甲板にてアイラ島が近づくのをずっと眺めておりました。

上陸したポートエレンは静かな町であり人通りがありません。港の近くに数件レストランと思いき店があるのですが、12時過ぎというのに皆閉まったままなのはびっくりしました。夜にならないと開けないのか、週末にしか開けないのか定かではありません。ゲストハウスにチェックインしてから海岸沿いにコンビニ風の



スプリングバンク

店を見付け、すかさず缶ビールとまたまたサンドイッチを買い込み、海辺の真っ白な砂浜に設えてあるテーブルに陣取りました。ほっとしたところに、アイラ島の清々しい風が頬を撫で、何か無性に気分がよくなって来ました。その午後は歩くこと往復で約 15 キロ、ラフロイグ (Laphroaig)、ラガヴァリン (Lagavulin)、アードベッグ (Ardbeg) の各蒸留所を駆け足で回りました。見学ツアーに参加する暇は到底なく、やや反則気味に敷地内をうろつき、ショップ覗きがやっとでした。これらは全て海岸沿いに位置する人気蒸留所で、ピート臭の強さを売り物にした銘酒をそれぞれ生産しています。道すがら海岸で休んだり、丘の斜面に群なす羊や牛を眺めながら、アイラ島の風を思い切り吸っているうち、ひょっとしたら天国とはこういうところかな、という訳の分からない感慨に耽ったりもしました。夜はゲストハウスのレストラン・バーで食事を楽しみました。ビールはグラスゴー産のテネンツ (Tennent's) のラガー、ウィスキーはやはりラガヴァリンがご機嫌です。注文の牡蠣や烏賊のフリットは酒の肴に申し分ありません。

翌日はアイラ島の中心地ボウモアへ移動しました。ここには同名の蒸留所があり、ビジター数が多くツアーも盛況でした。程好いピート臭と柔らかい口当たりで近年最も成功しているアイラ・モルト蒸留所です。現在はサントリー資本下にあるのがちょっと気に食わないところですが、試飲所ではかなり年季のはいったものまで飲ませてくれましたので、まーいっか、



ボウモア

と変なところで妥協をいたしました。午後はカリラ (Caol Ila)、ブルックラディ (Bruichladdich) の2つの蒸留所をバスで回りましたが、両方ともボウモアより更に口当たりの柔らかい感じのするアイラ・モルトを生産しています。カリラ蒸留所近辺から見るジュラ島 (Isle of Jura) の景観は筆舌に尽くしがたいものがあります。北斎に描かせたい、などという、またしても奇妙な感慨が過ぎります。この日もゲストハウスに投宿しましたが、オーナー夫妻が無類の日本人好きという評判で、確かによく気を遣ってくれます。実はこの晩は地元の人たちのパーティーがあり、別室での食事はなかなか注文品が来なくてやきもきしたのですが、「もうすぐ来るからね。」で来るのはビールばかり。でも翌朝の早飯の要請にも快く応えてくれ、最後は笑顔で見送ってくれたので、ここも、まーいっか、でした。

アイラ島は 500 平方キロ位の島で、人口は僅か 3000 人、スコットランドの他の地域の例に漏れず人口よりも羊の数の方が遥かに多いところ です。島民は礼儀正しく、旅行客に対しても会釈・挨拶を欠かしません。時間はゆったりと流れ、全くせせこましいところがありません。バスの運転手は釣銭がないからと言って端数を負けてくれたり、日本ではまず起こりえないようなことが平気で起こります。10 年程前に出版された村上春樹の紀行エッセイ「もし僕らのことばがウィスキーであったなら」を改めて読み返しました。

エルゼビア・ジャパン(株)ヘルス・サイエンス

桑原七男



アードベッグ

日本総代理店：丸善

経済学の最重要レファレンスが約20年ぶりに全面改訂！
編集委員会には伊藤隆敏教授（東京大学）も参加

ザ・ニュー・パルグレイヴ経済学大辞典 第2版 全8巻

The New Palgrave Dictionary of Economics 2nd edition

Ed. by **Steven N. Durlauf**, *Kenneth J. Arrow Professor of Economics
at the University of Wisconsin at Madison, USA, and*
Lawrence E. Blume, *Professor of Economics at Cornell University, USA*

2008. 8 Vols. 7,680 p., Hard.

(ISBN: 978-0-333-78676-5 / 注文番号MBN: 0709139)

USD2,500.00 / 通常価 ¥426,195 / 特価 ¥367,500〔税込〕

本書は、経済学の最重要レファレンスであるThe New Palgrave Dictionary of Economics（初版1987年刊行）の第2版です。旧版に収録されていた古典的重要論文の多くを保持するとともに、1000以上の新規の項目を収録し、また初版に収録された項目も全面的に改訂された論文を収録しています。1500人以上の著名な寄稿者による本書は、1750もの論文を収録し、収録語数は580万語にも達します。経済学に関係するあらゆる人に、まさに必須のレファレンスといえます。

【本書の特色】

- ・ ノーベル賞受賞者を含む各分野の権威が寄稿
- ・ 収録項目の70%以上が新規のものか旧版を改訂したもの
- ・ 行動経済学や実験経済学など新規分野も分析
- ・ 現状の分析とともに歴史的観点から将来の動向を議論

【オンライン版の特色】

- ・ リモートアクセス可能
- ・ フルサーチ・ブラウジング機能付き
- ・ 各論文にはクロスレファレンス用のハイパーリンク付き
- ・ 関連webサイト・情報ソースへのリンク付き、オンラインのテキストソースも収録

* オンライン版の詳細はお問い合わせ下さい。

Contents:

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ◆ Publishing History | ◆ Appendices |
| ◆ Editors' Preface | ◆ Subject Index |
| ◆ List of Entries A-Z | ◆ Index |
| ◆ The Dictionary Volumes 1-8 | |

(Palgrave Macmillan, GBR / 日本総代理店：丸善)



ESTABLISHED IN 1869

【教育・学術事業本部】 〒103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル

☎ (03) 3272-3851 <http://www.maruzen.co.jp/home/irrn> 振替：00170-5-5

支店・営業部・営業所・出張所＝横浜・千葉・八王子・大宮・筑波／札幌・盛岡・仙台・名古屋・岐阜・金沢
京都・大阪・神戸・岡山・松山・広島・福岡・長崎・熊本・沖縄／ニュージャージー・ロンドン



ミラー麻酔科学 改訂第7版 全2巻セット

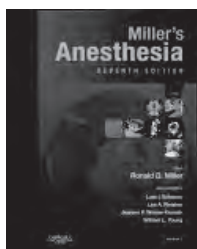
from **Churchill Livingstone / Elsevier**

新刊!
6月入荷予定

Miller's Anesthesia. 7th Edition. 2 Volume Set

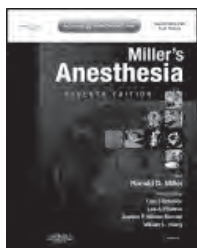
By Ronald Miller, Lars Eriksson, Lee Fleisher, Jeanine Wiener-Kronish, William Young

基礎から臨床まで、現代麻酔科学のすべてを網羅するスタンダードテキストの改訂第7版。第6版から5年ぶりの改訂で、待望のオンラインアクセス付きです。「Miller's Anesthesia」の専用サイトに接続することで、全テキスト、画像の閲覧、検索、ダウンロードなどが可能です。この改訂版には、世界中から新たに30名の著者が加わり、より見やすいカラーレイアウトや、全章につけられるKey Point Box、1500枚余のカラー図版など、細部にわたる徹底的改版により、一層充実した内容に仕上がっています。小児麻酔にも一つのセクションが設けられ、また、新しい章として、睡眠、記憶と意識、術中の認知機能障害、局所麻酔のための超音波ガイダンス、不整脈根治のための麻酔、肥満症手術のための麻酔、救急麻酔、外傷ケア、救命救急ケアプロトコル、神経性のクリティカルケア、腎臓代替療法の全13章が追加されています。



Standard Edition 予価 ¥40,950.- (本体 ¥39,000.-)
Hardbound 978-0-443-06959-8 3376 Pages May 2009

Standard Editionのオンラインは、全テキストのみの掲載で、コンテンツはアップデートされません。



Premium Edition 予価 ¥53,550.- (本体 ¥51,000.-)
Hardbound 978-1-4160-6624-8 3376 Pages May 2009

Premium Editionのオンラインでは、書籍に収録されている全テキスト、画像を閲覧、検索、ダウンロードすることが可能です。また、コンテンツはアップデートされ続け、常に最新情報を入手することができます。さらに、胸部硬膜外、肺動脈、大腿静脈カテーテル挿入、経食道エコー検査、二重管腔気管支チューブによる気管内挿管などの重要手技の動画も収録しています。

本商品のオンラインは、購入された個人の方にのみ有効です。パスワードにより、シングルユーザーであることをElsevier社により厳格に管理されます。パスワードを他人に貸したり、転売したり、またはこれらに類似した行為はすべて禁じられています。本商品の次版が発行されるか、あるいは現行の版の販売が終了するまでオンラインに接続することができます。

日本総代理店



United Publishers Services Limited

UPS0904